

# バレーボール実施要項

1. 日 時 11月9日(土)～10日(日) 9:00～
2. 会 場 北区赤羽体育館、北区桐ヶ丘体育館、江戸川区スポーツセンター、  
江戸川区総合体育館
3. 主 管 公益財団法人東京都バレーボール協会
4. 競技種目 9人制男子、9人制女子
5. チーム編成

1 チームは監督・コーチ・マネージャー各1名、選手は15名以内の計18名とする。但し選手は18名まで申込みことができる。そして、試合毎に選手15名をエントリーする。各都道府県選手団より男女各2チームまで参加することを認める。

## 6. 参加資格

- (1) 本大会の参加資格は、下記の通りとする。但し各都道府県選手団役員(団長、副団長、総監督・総務)、監督、コーチ、マネージャーはこの限りではない。
  - ①1979(昭和54)年4月2日から2004(平成16)年4月1日までに出生した者。
  - ②原則、2019(令和元)年5月1日からひきつづき当該都道府県に居住、または在勤・在学する者。
  - ③全日制高等学校の生徒は参加対象としない。
  - ④定時制または通信制高等学校、高等専門学校、各種学校の生徒は一般青年として参加できる。
- (2) 日本青年団協議会正会員または各都道府県の大会窓口からの選出または推薦を受けた者。
- (3) 参加者は医師の健康診断を受け、健康であることが証明された者とする。
- (4) 過去において、下記の全国バレーボール競技会に出場した選手の出場は認めない。
  - (ア) 国際競技会
  - (イ) 国民体育大会バレーボール競技(下記(5)参照)
  - (ウ) Vリーグ
  - (エ) 全国6人制バレーボールリーグ総合男女優勝大会
- (5) 上記のうち、国民体育大会少年の部および、全国高校選抜男女優勝大会、全日本高校男女選手権大会並びに全国高校男女定時制・通信制大会の出場者は全国青年大会への参加は認める。
- (6) 国内外で職業競技者(演技者・技術者)としての活動実績を有する者は本大会に参加できない。
- (7) 無資格の選手が参加していることが発見されたときは、当該チーム全体を失格とする。

## 7. オーバーエイジ枠

参加資格に、オーバーエイジ枠(以下、OA(1979(昭和54)年4月1日より前に出生した者の参加を一部認める))を設ける。OAが参加する場合は登録選手のうち3名以内とする。

## 8. 参加申込

締切期日をすぎた後の申込および変更は一切受け付けない。ただし、以下の場合はその限りではない。

- (1) 本人が病気、けがで入院するなど参加不可能の場合、医師の診断書を、10月18日(金)必着で大会本部に提出すれば参加登録は抹消する。なお、病気、けがなどの理由で参加登録抹消者が発生し、チーム全員の参加が不可能となった場合は、チーム全員の参加登録を取り消す。
- (2) 団体競技種目で参加登録抹消者(理由に関わらず)が発生した場合、参加者の入れ替えを認める。また、入れ替え登録は10月18日(金)必着で大会本部へ所定の様式にて郵送で申請し、なおかつ種目別監督会議での報告を義務とする。入れ替え後の氏名はプログラムには記載されない。なお、書類に不備がある場合は入替登録を認めない。なお、入れ替え登録した参加者の大会参加費及び大会運営費、保険料は発生しないものとする。

## 9. 競技方法

- (1) 2018年度公益財団法人日本バレーボール協会9人制競技規則による。
  - (注) ネットの高さ(9人制) 男子2.38m、女子2.15m

大会使用球 男子、女子とも (株) モルテン 公認5号球 カラーボール「V5M5000」  
ボール内気圧 0.31kg/c㎡

- (2) 全試合3セットマッチとして、3位決定戦は行わない。
- (3) 出場チーム数によっては上記試合方法によらず、新たな試合方法を用いることもあり得る。  
この場合は、試合方法は10月半ばを目処に日本青年団協議会正会員または各都道府県の大会窓口  
に連絡した上で、プログラムに記載するとともに監督会議でも発表する。
- (4) 大会規定に関すること
  - ① 試合への参加人員は、監督1名、選手15名、その他コーチ、マネージャーの計18名までベンチ  
に入ることができる。土足(短靴)でベンチには入れない。
  - ② 登録番号は背番号とし、一度登録された背番号及び登録者の変更は一切認めない。(記載時に  
注意すること)
  - ③ 組み合わせは主催者で行う。
- (5) 競技に関すること
  - ① 開始式は各会場にて行うので、チームは統一されたユニフォームで全員参加すること。
  - ② 表彰は決勝戦終了後各会場で行う。1位チーム及び2位チームは必ず出席すること。
  - ③ 試合順序はプログラム記載通り実施するが、都合によりコートおよび試合順序を変更する場  
合がある。試合開始時間は、第1日目の第1試合は開始式終了後、2日目は10:00から。第2  
試合以後は前試合の終了後に引き続き行うので、試合に支障のないよう早目に集合のこと。  
ただし、試合が連続する場合は15分後プロトコールに入る。
  - ④ 構成メンバー表は各会場の受付係へ試合毎に提出すること。
  - ⑤ トスは記録席前で行う。その際、サーブ順を記入してあるサービスオーダー票を監督が提出  
のこと。
  - ⑥ 公式練習時間は各チーム3分間とする。両チームでの合同練習も可とする。
  - ⑦ 審判員は、公益財団法人日本バレーボール協会公認審判員があたる。但し、線審・点示員に  
ついては各出場チームより協力して貰う。
  - ⑧ 試合中のタイムアウト及び、メンバーチェンジは監督又はキャプテンがハンドシグナルで示  
し、審判員に申し出ること。
  - ⑨ 第1日目勝ち残ったチームは、翌日の競技日程について大会本部で確認の上、帰ること。
  - ⑩ ユニフォーム(ジャージおよびパンツ)は清潔でデザインと色は統一されたものとする。
  - ⑪ 企業名、大学名、商品名の入ったユニフォームでの試合は認めない。ただし、上から別布で  
見えなくしたものは可。
  - ⑫ ユニフォームには、必ず背番号、胸番号をつけること。その際、胸番号の大きさは、字幅2  
cm以上で、縦15cm以上とする。背番号の大きさは、字幅2cm以上で、縦20cm以上とする。
  - ⑬ 背番号、胸番号はユニフォームの色と異なる対照的な色の1から18までの番号を付けなけれ  
ばならない。ただし、やむを得ない場合には、1から99までの番号を用いてよい。
  - ⑭ 監督、コーチ及びマネージャーは、公益財団法人日本バレーボール協会競技規則に定める監  
督章、コーチ章、マネージャー章を必ず左胸部につける。
- (6) 会場に関すること
  - ① 各会場の観覧席を選手席とする。
  - ② 盗難については責任を負わないので、チーム毎に携行品の責任者を決め、盗難に充分注意す  
ること。また、観覧席には、紙屑類等一切残さないように協力すること。
  - ③ 応援は節度を重んじて、試合の進行に差し支えることのないようにすること。
  - ④ 体育館のホール、通路等でのボールを使用しての練習は固く禁止する。

## 10. 表 彰

- (1) ベスト4まで表彰し、賞状を授与する。
- (2) メダルは1位チームに金メダル、2位チームに銀メダル、3位チームに銅メダルを全員に授  
与する。
- (3) 1位チームには優勝旗とカップ、2位及び3位チームには楯を授与する。

## 11. 東日本大震災に伴う参加資格の特例について

震災による被害状況及び影響等を考慮し、青森県、岩手県、宮城県、福島県、茨城県、千葉県  
の6県を本特例の適用対象となる被災地域県（以下、「特例対象県」）とし、前記参加資格を満  
たした上で、当該被災地域県からの避難等により、2011（平成23）年3月11日以降移動せざるを得  
なかった場合、避難前に在住していた県から参加することができる。ただしこの場合、2011（平  
成23）年3月11日時点において、当該特例対象県内に居住していた者であることを当該県選手団  
長が証明する書類を提出することを条件とする。なお、書式については別途指定する。

## 12. その他

- (1) 基準要項、体育の部要項に定めるところによる。
- (2) ベンチ入り認められるのは、監督、コーチ、マネージャーとし、参加チームのチーム代表  
者（都道府県選手団役員等）がベンチ入りを希望する場合は、事前に競技会場内の大会本部に  
申し出ること。なお、認められる人数は大会参加章を付けた2名以内とする。
- (3) 参加者は、大会本部が指定した旅行業者を通じて航空券や乗車券及び宿舎を申し込む。ただ  
し、茨城県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県は関東近郊のためこの限りではない。  
また、沖縄県は指定旅行業者を通じ航空券と宿舎を併せて手配することができないため、宿舎  
のみ指定旅行業者により手配する。
- (4) 監督・コーチ・マネージャーが2チーム以上を兼務する場合でも支払うチーム参加費に変更  
は無い。
- (5) 記載のない内容については主催者で判断する。



# スポーツ振興基金助成事業

独立行政法人日本スポーツ振興センター